



風水害に備えて

一人ひとりの防災行動計画

神奈川県では、マイ・タイムライン(私版 防災行動計画)の作成を呼びかけています。

マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自身の避難行動計画のことです。

作成では、洪水ハザードマップから、自らの様々な洪水リスクを知り、どのような避難行動が必要か、どういうタイミングで避難することが良いのかを自分や家族と一緒に考え作成します。



イラスト / 神奈川県

マイ・タイムラインを作るには

神奈川県では県内市町村の住民の皆様へ「マイ・タイムラインの作成支援」を行っており、ホームページに各市町村の特色を踏まえた、マイ・タイムラインの作成シートを掲載しています。

【検索】 神奈川県マイタイムライン 《マイ・タイムラインを作ろう》

作るポイントは

作成手順として、主に以下の項目を個々の状況に応じた行動の検討です。

- ハザードマップで、自宅や職場の浸水想定区域や土砂災害区域など、地域の災害リスクを知る。
- 「避難しやすい服装に着替える」「避難時の所持品の準備する」など、洪水時の基本的な行動を考える。
- 県・市町村が発信する気象情報、洪水警報などを確認する方法を把握。
- 洪水時の安全な場所への移動手段、高齢者や乳児、ペットがいるか、親戚など避難を受け入れてくれる場所など自身や家庭の状況をチェック。

国では令和3年、住民が避難行動に直感的な理解へ従来の「避難勧告」から、より分かりやすく身を守る状態を細分化した「避難情報のガイドライン」に改訂しました。

- レベル3「高齢者等避難に時間がかかる方は災害発生の際のある場所から避難」
- レベル4「全員が災害の発生の際のある場所から避難」
- レベル5「災害の発生または切迫：緊急安全確保、直ちに身の安全を確保が必要」

警戒レベル		避難情報	
5	 災害発生 又は切迫	緊急安全確保	
警戒レベル4までに必ず避難			
4	 災害の おそれ高い	避難指示	
3	 災害の おそれあり	高齢者等避難	
2	 気象状況 悪化	大雨・洪水・高潮 注意報 (気象庁)	
1	 今後状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の堤防決壊により大規模な浸水被害が発生。4,000名以上が救助や避難の遅れ、避難者の孤立が発生しました。それを受け、住民一人ひとりの単位で水防災に関する知識と心構えを共有し、事前計画等の充実を促すツールとして「マイ・タイムライン」が開発されました。

神奈川県でも令和元年東日本台風では、相模川の城山ダムで緊急放流が実施されて下流域で甚大な被害が及ぶことが想定されるなど県内の多くの河川で緊迫した状況となり、全県で最大約10万人が避難しました。

その後も、令和2年7月豪雨により西日本を中心に大きな水害など、毎年のように全国各地で豪雨災害が発生しています。近年の異常気象では神奈川県内でも、いつ、大きな水害に見舞われるか分からない状況が続いており、水害時のおける一人ひとり身の安全を守る取組みは重要です。



あらい絹世の 歩いて見る！ 磯子のまち あれ？ これ？

田中1・2丁目(〒235-0035)
人口: 3,830人 世帯数: 1,811世帯 (令和7年7月現在)

田中は、かつて武蔵国久良岐郡に属する小村でした。1889(明治22)年に周辺の笹下・矢部野・栗木・上中里・峰・氷取沢の各村と合併して日下村大字田中となり、1927(昭和2)年4月1日に横浜市に編入され、横浜市田中町、10月1日に磯子区が新設されて横浜市磯子区田中となりました。

町内にある田中神社は、創建時期は不詳ですが江戸時代に御嶽社として開創されて田中の鎮守となりました。1906(明治39)年に内務省神社合祀通版により、上笹下地区の無格社統合がおこなわれ六ヶ村の鎮守が栗木の日枝神社に合祀され、1912(明治45)年に上笹下神社として遷座しました。

第二次世界大戦後、それぞれの地区に氏神様を祀ることになり、1947(昭和22)年4月に現在の場所に仮の御神殿を建て田中神社としました。1971(昭和46)年12月に発生した火災により神殿が焼失、その後町内有志と神社の関係者によって再建され、更に2001(平成13)年9月に神殿の増築と補修、並びに周辺の整備をおこない現在に至ります。また同時期に先の社殿火災の時に焼失した大人用と子供用の神輿2基も新調しました。

田中の周辺では、植物のシュロが植えられていました。これは、かつてこの地域で生活用水に「つるべ井戸」が使われていて、井戸水を汲み上げる桶にシュロで編んだ縄を使っていました。シュロの木は田中の他、中原・杉田でも見られますがこちらの地域では漁師が使う漁網等、漁具を作るために植えられたそうです。

田中町内会では、毎年8月に町内の左右手公園で開催されていた盆踊り大会が「オータムフェスタ」として昨年から9月に地域の子供達や皆さんによるダンスや踊り、楽器演奏、模擬店の出店など、地域の楽しみとなっています。今年は、10月25日(土)の開催の予定です。

「神奈川県庁舎 各階」 文化スポーツ観光局 国際課

文化スポーツ観光局国際課の主な業務は、国際施策の企画調整、国際交流・協力、地域国際化の推進などです。神奈川県では、アメリカ合衆国・メリーランド州、ドイツ・バーデン・ビュルテンベルク州、韓国・京畿道、ウクライナ・オデーサ州などの8つの友好交流地域を中心とした国際交流事業を実施しています。また、経済成長が著しいベトナムとは、経済、観光、教育、文化等様々な分野で交流が活発になっており、2015年から「ベトナムフェスタ in 神奈川」、2018年からベトナムで「KANAGAWA FESTIVAL」を開催する等、相互理解を促進し将来にわたる両地域の継続的な成長と発展を図っています。「ベトナムフェスタ in 神奈川2025」は9月13日(土)14日(日)に日本大通り・神奈川県庁・象の鼻パークを会場に開催。「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2025」は11月15日(土)16日(日)にベトナム・ハノイ市において開催予定です。

国際課では、北朝鮮当局による拉致問題を風化させないための取組も進めています。拉致被害者のご両親がご健在なのは横田めぐみさんのお母様お一人となり、拉致問題の解決には一刻の猶予も許されない状況です。更には2002年10月に5名の拉致被害者の方々が帰国してから進展が見られず、県ではこの問題を風化させない取組を進めています。

特に若い世代に対しての取組として、昨年、横田めぐみさんの弟さんで「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」代表の横田拓也氏による講演などの特別授業を県立高校で実施しました。また、若い世代向けのポスターを作成し県立高校などに掲載しています。県議会では「北朝鮮による日本人拉致問題の徹底解明と求める意見書」「北朝鮮による日本人拉致問題の全面解決を求める意見書」「北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深める取組を推進する決議」などを採択しています。



高校生向け拉致問題啓発ポスター

昭和43年 横浜市磯子区生まれ。 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業。

日商岩井株式会社に8年、株式会社メタルワンに5年勤務。

平成23年 神奈川県議会議員選挙 初当選 以後連続4期トップ当選。

県民スポーツ常任委員会・厚生常任委員会・予算委員会など各委員長を歴任。

現在 厚生常任委員会、安全安心・未来環境特別委員会、予算委員会各委員、かながわ自民党副幹事長。

